

岩手国体

# 体操の県代表決まる

## 田辺工業高、明洋中から6人

国民体育大会体操競技の県予選会がこのほど、和歌山市中之島の県立体育館であった。少年男子の部(中学3年〜高校3年)の個人総合で田辺市の田辺工業高校と明洋中学校から計6選手が上位に入り、国体の県代表メンバーに決まった。成年男子の部(大学生、一般)では、田辺工業OBの4選手が選ばれた。

### 少年男子の部



筒井宏樹君



高田佑貴君



木本大晴君



横山秀也君



山本開君



松田治樹君

大会は、床、あん馬、つり輪、跳馬、平行棒、鉄棒の6種目の合計点で競った。国体の代表には7人が選ばれた。(正選手5人、補欠2人)。少年男子の部の代表は、紀南勢が6人。県大会1位の高田佑貴君(田辺工業高2年)、2位の筒井宏樹君(同3年)、

### 成年男子の部



山本群さん



楠川雄太さん



柴田快輝さん



鈴木孝彦さん

3位の横山秀也君(同3年)、4位の木本大晴君(同2年)、5位の松田治樹君(明洋中3年)、6位の山本開君(田辺工業高3年)。あと1人は向陽高校2年の山本敬太郎君が代表入りした。少年男子の部の県代表は、これまで国体で3年連続ベスト10に入っており、今年も上位入賞を目指すという。成年男子の部は、紀南から個人総合で上位に入った田辺工業高校OBの4選手が選ばれた。2位の楠川雄太さん(順天堂大学2年)、4位の山本群さん(日本大学2年)、5位の鈴木孝彦さん(九州東

励んでほしい」と話した。海大学2年)、7位の柴田快輝さん(田辺市役所)。選手は8月28日に京都府向日市で開かれる近畿ブロック大会に出場し、少年男子は3位以上、成年男子は2位以上で10月の岩手国体に進む。県体操協会の笹村昌宏強化部長(34)は「少年男子も成年男子も、普段通りの実力を出せば上位入賞を狙える。今後も気を引き締めて練習に励んでほしい」と話した。